

都市計画総務事務事業

部名/課名/係名 都市建設部 / まちづくり推進課 / 都市計画係

1 基本分類

総合計画コード

5111~5623

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
- 委託等
- 連携・協働
- 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
- 義務と任意
- 任意

主な根拠法令等

都市計画法 朝霞市都市計画審議会条例 朝霞市都市計画審議会規則

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

本市の都市計画の内容及びその決定手続、都市計画制限、都市計画事業等に関し必要な事項を定め、その調査審議及び提言等が適正に行われることにより、都市の健全な発展と秩序ある整備が図られている。

事業内容 【継続】

朝霞市都市計画マスタープランのまちづくりの将来像の実現に向け計画を推進するとともに、都市計画審議会の開催等により都市計画の総務管理を執行する。

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

- ・都市計画審議会を5回開催し、今年度中に審議し決定すべき案件はすべて議決した。
- ・立地適正化計画を策定した。
- ・官民連携まちなか再生推進事業として、北朝霞・朝霞台地区のエリアプラットフォームの構築及び未来ビジョンの策定に向けて、検討を進めた。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 都市計画審議会の開催	回	4 (2)	4 (3)	4 (5)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 都市計画審議会での議案審議	一	議決 (議決)	議決 (議決)	議決 (議決)	議決 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	79,536	101,286	100,725	千円
人件費	13,575	17,037	23,645	千円
総計	93,111	118,323	124,370	千円

【財源内訳】一般財源89,170千円、国庫支出金11,500千円、その他55千円
 【執行内訳】報酬512千円、報償費200千円、旅費177千円、需用費370千円、役務費206千円、委託料20,482千円、使用料及び賃借料1,146千円、負担金、補助及び交付金158千円、償還金、利子及び割引率77,474千円

3 今後の方向性 (必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定 拡充 継続 縮小 休止・廃止

- 見直しの余地
- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 - 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 - サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 - 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
 - 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 - その他 ()

【今後の取組等】

・都市計画マスタープランのまちづくりの将来像実現に向けて計画を推進するとともに、都市計画マスタープランの見直しに着手する。また、都市計画審議会を開催し適正に運営していく。都市計画審議会は、公募市民の枠を設け市民の視点から意見を伺うようにする。
 ・ウォークアブル推進都市として、ベンチの設置や公共空間の有効活用などにより、居心地が良く歩きやすくなるまちなかづくりを推進する。また、朝霞駅南口駅前通りの一方通行化及び周辺道路の安全対策について、地元と合意形成を図りながら、基本構想を策定する。
 ・GISを導入することで、情報管理の一元化、効率化を図ることで、インターネット経由での情報提供を可能とし行政サービスの向上を図る。
 ・官民連携によるまちづくりを推進する。(朝霞駅周辺及び北朝霞・朝霞台周辺地区等)
 ・国道254号バイパス周辺については、沿道利用の活性化に向けて、内間木公園拡張整備等庁内検討委員会において検討を進める。
 ・長期にわたり未整備となっている都市計画道路は必要性等の検証を行い、見直しの検討を行う。

道路用地取得事業

部名/課名/係名

都市建設部

／道路整備課

／用地係

1 基本分類

総合計画コード

5111,5211,5213,5612

事業類型

ハード事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

公有地拡大の推進に関する法律 朝霞市土地開発基金取扱事務要綱 朝霞市土地開発公社定款

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

道路・歩道用地の取得により道路環境の整備を図ることによって、市民生活の利便性が向上している。

事業内容【継続】

土地の不動産鑑定や建物等の補償積算に基づき、土地地権者との用地交渉を行う。
 土地売買契約の締結、朝霞市へ名義変更するための所有権変更登記、必要に応じた土地開発基金の運用及び所得税確定申告に対する証明等を行う。
 土地開発公社の運営事務
 公拡法の受付・処理事務

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

土地売買契約:28件
 買収面積:約1,168平方メートル(29筆)

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 用地買収交渉回数	回	50 (54)	50 (57)	50 (70)	R 7 年度
	② 名義変更登記回数	回	25 (31)	25 (36)	25 (52)	R 7 年度
成果	① 用地契約筆数	筆	40 (42)	40 (30)	40 (29)	R 7 年度
	② 用地契約面積	m ²	1000 (824)	1000 (1610)	1000 (1168)	R 7 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	15,257	336,374	200,160	千円
人件費	16,290	16,558	14,039	千円
総計	31,547	352,932	214,199	千円

【財源内訳】一般財源 200,160千円
 【執行内訳】旅費 11千円
 需用費 126千円
 役務費 6,488千円
 委託料 23,540千円
 公有地財産購入費 169,985千円
 負担金、補助及び交付金 10千円

3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

拡充 継続 縮小 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他 (計画的な用地買収や沿道地権者への周知もかねて整備路線の丈量図を整備する必要がある。)

【今後の取組等】

朝霞市道路整備基本計画に基づき用地取得を進めていく。
 相続などの理由から買取申出が提出されることが多く、その対応も行う。
 朝霞市土地開発基金を適切に運用していく。

基地跡地整備基金積立事業

部名/課名/係名

市長公室

政策企画課

政策企画係

1 基本分類

総合計画コード

5123

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
- 委託等
- 連携・協働
- 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
- 義務と任意
- 任意

主な根拠法令等

朝霞市基地跡地整備基金条例 朝霞市基地跡地利用計画書

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

基地跡地を整備する財源となっている。

事業内容【継続】

基地跡地整備基金の運用利息の積立を行う。

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

基地跡地整備基金の運用利息の積立てを行った。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 基金利子積立額	千円	1,459 (2,291)	1,939 (703)	1,939 (705)	1,939 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 年度末残高	千円	321,728 (206,407)	211,207 (207,110)	211,207 (207,815)	218,963 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	2,291	703	705	千円
人件費	1,164	2,650	1,108	千円
総計	3,455	3,353	1,813	千円

【財源内訳】 その他 705千円
【執行内訳】 積立金 705千円

3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

拡充 継続 縮小 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
- 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
- サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
- 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
- 受益者負担のあり方について見直す余地がある
- その他 ()

【今後の取組等】

基地跡地の土地を取得して整備を行う場合、多額の費用が見込まれることから、積み立てを計画的に行うことが望ましい。

基地対策事業

部名/課名/係名

市長公室

/ 政策企画課

/ 政策企画係

1 基本分類

総合計画コード

5123,6541

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

市民からの意見などを国に伝え、また、問題解決に向けて国の関係機関等へ要望することにより、市民が安全安心に暮らしている。

事業内容【継続】

自衛隊に関する情報収集及び連絡調整を図る。埼玉県基地対策協議会、全国基地協議会、防衛施設周辺整備全国協議会への加入及び要望活動を実施する。

実施状況

○ 計画以上に実施できた ● おおむね計画どおりに実施できた ○ 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

埼玉県基地対策協議会、全国基地協議会及び全国防衛施設周辺整備協議会を通じて、国の関係機関等へ要望活動を実施した。また、陸上自衛隊朝霞駐屯地等における訓練などの実施状況、日米共同方面隊指揮所演習の動向等について把握に努めた。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 基地対策事業に関する要望活動等の実施回数	回	3 (4)	3 (5)	3 (4)	3 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 自衛隊の訓練等による騒音や振動に対する苦情件数	件	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	19	3	7	千円
人件費	1,551	3,029	1,847	千円
総計	1,570	3,032	1,854	千円

【財源内訳】 一般財源7千円
【執行内訳】 需要費7千円

3 今後の方向性 (必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定	○ 拡充 ● 継続 ○ 縮小 ○ 休止・廃止
見直しの余地	<input type="checkbox"/> 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる <input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者負担のあり方について見直す余地がある <input type="checkbox"/> その他 ()

【今後の取組等】

関係機関と連絡調整を行うとともに、地元自治体への情報提供や事故防止等の安全管理を徹底し、周辺住民に不安を与えることがないように、国への要望を引き続き実施する。

基地跡地暫定利用事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ みどり公園課

/ みどり公園係

1 基本分類

総合計画コード

5123,5323

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

子どもからお年寄りまで幅広く、多くの市民が、基地跡地の暫定利用地(3ヘクタール)を多目的広場として有効に活用している。

事業内容【継続】

基地跡地暫定利用広場の施設管理を行い、市民への利用促進を図る。

実施状況

○ 計画以上に実施できた ● おおむね計画どおりに実施できた ○ 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

・国と暫定利用の広場として、2年間の契約を行った。
 ・市民、利用団体等で構成される「朝霞の森運営委員会」において、市民等が主体的に参画して意見交換を行いながら、市民協働で管理運営を行った。
 ・清掃をシルバー人材センター、除草・樹木管理は造園業者、冒険遊び場づくりをNPO法人朝霞プレーパークの会に委託、除草やヒコバ工処理等の一部をボランティアで市民が管理した。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 朝霞の森運営会議の開催	回	2 (1)	2 (1)	2 (2)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 来場者数	人	55,000 (96,133)	55,000 (97,596)	55,000 (70,353)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	10,833	10,376	6,421	千円
人件費	3,491	3,786	8,497	千円
総計	14,324	14,162	14,918	千円

【財源内訳】一般財源 6,421千円
 【執行内訳】需用費 578千円
 委託費 5,843千円

3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

○ 拡充 ● 継続 ○ 縮小 ○ 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他 ()

【今後の取組等】

市の中心的な場所に残された貴重な緑を活かしながら、管理を委託している造園業者や市民、利用団体等で構成される「朝霞の森運営委員会」と連携を図りながら広場の除草や樹木の管理など市民協働で管理運営を行っていく。引き続き暫定利用広場として、国と契約して利用する。

シンボルロード管理事業

部名/課名/係名 都市建設部 / みどり公園課 / みどり公園係

1 基本分類

総合計画コード

5123,5611,5612

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

シンボルロードが、緑に囲まれた「憩いと交流の拠点」として、市民に利用されている。

事業内容【継続】

シンボルロードの維持管理及び機能向上等。

実施状況

○ 計画以上に実施できた ● おおむね計画どおりに実施できた ○ 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

- ・シンボルロードの維持管理
- ・シンボルロード施設維持管理
- ・シンボルロードイルミネーション管理
- ・「シンボルロード版使い方ガイドブック」の作成に向けて、シンボルロード管理運営を考える会議を開催。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 管理運営を考える会議の開催	回	4 (0)	4 (1)	4 (1)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 施設等の不具合による事故件数	件	0 (0)	0 (0)	0 (0)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	24,416	29,939	32,231	【財源内訳】一般財源 32,231千円
人件費	4,266	3,786	9,975	【執行内訳】需用費 1,773千円 委託料 30,458千円
総計	28,682	33,725	42,206	

3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

○ 拡充 ● 継続 ○ 縮小 ○ 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他 ()

【今後の取組等】

これまでの実証実験を踏まえ、シンボルロード版使い方ガイドブックを作成していく。また、シンボルロードを適切に管理し、各種イベントの参加者や道路通行者の安全を守っていく。

交通安全啓発推進事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ まちづくり推進課

/ 交通政策係

1 基本分類

総合計画コード

5212,5231

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

朝霞市道路反射鏡設置
工事補助金交付要綱
道路運送車両法

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

交通安全意識の高揚を図るため、広報活動等の交通安全運動を積極的に推進するとともに、幼児から高齢者までのそれぞれに適切な教育指導をすることにより交通事故が減少している。

事業内容【継続】

春、夏、秋、冬の交通安全街頭活動。小学校に交通安全作品の募集、表彰。交通安全啓発看板の作成配置。市内小学4年生を対象に自転車免許証交付の為の実地指導、高齢者の自転車・歩行コンクールの実施。交通関係団体の事務局、各団体への補助金の交付。私道利用者の道路反射鏡設置に係る補助金の交付。道路運送車両法及び道路運送車両法施行規則の規定による臨時運行許可証(仮ナンバー)の発行。市町村交通災害共済保険加入の窓口受付(申請・請求)

実施状況

○ 計画以上に実施できた ● おおむね計画どおりに実施できた ○ 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

交通安全啓発活動を実施(春・夏・秋・冬)。
 小学校4年生を対象に自転車安全運転実地指導を実施。
 保育園、幼稚園児を対象に交通安全教室を実施。
 防災フェアに交通安全ブースを出展し、交通安全や飲酒運転撲滅等の啓発を実施。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 交通安全街頭活動回数	回	4 (0)	4 (1)	4 (2)	R 7 年度
	② 交通安全教室実施回数	回	42 (30)	42 (48)	50 (48)	R 7 年度
成果	① 年間交通事故発生件数(人身事故)	件	290 (248)	285 (272)	280 (283)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	千円
事業費	4,103	4,765	4,568	千円
人件費	6,206	6,436	5,911	千円
総計	10,309	11,201	10,479	千円

【財源内訳】一般財源 3,953千円 その他 615千円
 【執行内訳】報酬 1,460千円 報償費 133千円
 旅費 89千円 需用費 1,281千円
 役務費 66千円
 負担金、補助及び交付金 1,527千円
 公課費 12千円

3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

○ 拡充 ● 継続 ○ 縮小 ○ 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他 ()

【今後の取組等】

引き続き、朝霞警察署等の関係機関と連携し、各種交通安全啓発活動を実施していく。

放置自転車対策事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ まちづくり推進課

/ 交通政策係

1 基本分類

総合計画コード

5212,5213

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
- 委託等
- 連携・協働
- 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
- 義務と任意
- 任意

主な根拠法令等

朝霞市自転車等放置防止条例朝霞市自転車等放置防止条例施行規則

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

駅周辺の放置自転車禁止区域内の放置自転車を撤去することにより、歩行者が安全に移動できている。

事業内容【継続】

放置自転車の指導・撤去を実施し、指定日(返却日)、保管場所で撤去した自転車を返却する。保管期限(約3か月)を過ぎた自転車等は処分する。

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

放置自転車等撤去 20回(自転車52台・バイク0台) 放置自転車等返還 101日(自転車18台・バイク0台)
放置自転車リサイクル 0回(自転車0台)
放置自転車再資源化 (自転車90台) ※()内は令和5年2月末現在

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 放置自転車等の指導日数	日	102 (95)	102 (95)	95 (95)	R 7 年度
	② 放置自転車等の撤去回数	回	25 (25)	25 (25)	25 (20)	R 7 年度
成果	① 放置自転車等の撤去台数	台	480 (156)	150 (117)	140 (65)	R 7 年度
	②					R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	11,468	11,399	12,335	千円
人件費	5,818	3,029	3,695	千円
総計	17,286	14,428	16,030	千円

【財源内訳】一般財源 12,071千円 その他 264千円
【執行内訳】需用費 161千円 役務費 13千円
委託料 6,409千円 使用料及び賃借料 2,452千円
工事請負費 3,300千円

3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

拡充 継続 縮小 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
- 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
- サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
- 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
- 受益者負担のあり方について見直す余地がある
- その他 ()

【今後の取組等】

放置自転車の撤去台数が大幅に減少していることから、令和5年度より保管場所を1か所減少するとともに、放置自転車に係る各種委託業務についても内容を縮減する。

今後については、縮減の影響を注視し、必要に応じて業務の見直しについて検討する。

駅前広場管理事業

部名/課名/係名

都市建設部

／道路整備課

／道路管理係

1 基本分類

総合計画コード

5212

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

道路法 朝霞駅前広場条例

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

駅前広場が清潔に清掃され、広場利用者が快適に利用できている。

事業内容 【継続】

北朝霞駅、朝霞台駅、朝霞駅前広場の清掃等の維持管理。

実施状況

計画以上に実施できた
 おおむね計画どおりに実施できた
 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

駅前広場及び公衆トイレの清掃等を毎日実施した。また、週に1回朝霞駅前広場の鳩糞や地下道の清掃を重点的に実施した。鳩糞の対策工事を実施した。駅前広場の施設の修繕を適切に実施した。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 駅前広場清掃維持管理		適切に管理 (適切に管理した)	適切に管理 (適切に管理した)	適切に管理 (適切に管理した)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 駅前広場に関する苦情件数	件	3 (2)	3 (4)	3 (8)	3 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	30,200	28,865	49,670	千円
人件費	4,654	4,165	4,433	千円
総計	34,854	33,030	54,103	千円

【財源内訳】 一般財源 33,235千円
 その他 16,435千円
 【執行内訳】 需用費 28,879千円
 委託料 20,791千円

3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

拡充
 継続
 縮小
 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他 (多くの市民が利用する公共空間として市が積極的に管理を継続していく必要がある)

【今後の取組等】

駅前広場は市の玄関口であり、常に良好な状態に保つために必要な事業である。今後についても広場の床の長年の汚れに関する清掃などを実施できるようにしていく。また、ウォーカブル推進都市として歩行空間の快適性向上を目指し、居心地がよく歩きたくなるような空間づくりを推進していく。

道路施設維持管理事業

部名/課名/係名

都市建設部

／道路整備課

／道路管理係

1 基本分類

総合計画コード

5212,5412

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

道路法 屋外広告物法
埼玉県屋外広告物条例

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

道路占用許可、道路工事施工承認等が適正に処理され、住民の新築、改修等において円滑に工事を施工することができている。また、道路及び側溝等を清掃することにより雨天時の道路表面水の排水を促し、道路冠水の抑制をはかる。

事業内容【継続】

道路占用許可、道路工事施工承認等の事務及び道路の側溝清掃、違反広告物撤去。

実施状況

○ 計画以上に実施できた ● おおむね計画どおりに実施できた ○ 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

道路占用許可や道路工事施工承認申請等を適正に処理することができた。住民の要望等に基づき道路及び側溝等の清掃を適切に実施し、雨天時の道路表面水の排出を促した。災害時の通行止め対応等が迅速にできるよう道路に設置した監視カメラを利用し、適切に対応した。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 道路清掃等実施件数	件	70 (60)	70 (63)	70 (60)	R 7 年度
	② 道路占用許可他事務件数	件	1,000 (1,457)	1,500 (2,043)	1,500 (2,000)	R 7 年度
成果	① 道路維持管理要望に対する現場対応率	%	100 (100)	100 (100)	100 (100)	R 7 年度
	② 道路占用許可他申請から許可までの日数	日	10 (14)	14 (14)	14 (14)	R 7 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	22,158	22,698	25,720	千円
人件費	8,145	7,572	7,758	千円
総計	30,303	30,270	33,478	千円

【財源内訳】 その他 18,247千円
一般財源 7,473千円

【執行内訳】 需用費 1,200千円
委託料 22,500千円
使用料及び賃借料 2,020千円

3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

● 拡充 ○ 継続 ○ 縮小 ○ 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他 ()

【今後の取組等】

側溝清掃、道路清掃等の業務を適切に実施している。宅地開発等が進み街路樹の落ち葉清掃や土埃等による道路清掃の依頼が多くなってきており、市民との協働の方法を模索しながらも、委託業務の導入を増やすなど拡充も検討していかなければならなくなっている。

道路施設修繕事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ 道路整備課

/ 道路管理係

1 基本分類

総合計画コード

5212,5124,5221,5231

事業類型

ハード事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

道路法

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

緊急修繕が確実に行われ、住民は安全に通行できている。

事業内容【継続】

道路の緊急修繕及び小規模な修繕を行う。(パトロール又は住民からの通報により、緊急に修繕が必要な場所を発見し修繕を行う)

実施状況

計画以上に実施できた
 おおむね計画どおりに実施できた
 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

住民等からの要望やパトロールで発見した道路の小規模不具合箇所について、適切に対応することができた。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 道路修繕工事施工件数	件	190 (134)	180 (161)	180 (150)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 道路修繕要望に対する現場対応率	%	100 (100)	100 (100)	100 (100)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	73,735	82,996	83,000	千円
人件費	7,757	7,572	8,128	千円
総計	81,492	90,568	91,128	千円

【財源内訳】 その他 83,000千円
 【執行内訳】 工事請負費 83,000千円

3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

拡充
 継続
 縮小
 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他 ()

【今後の取組等】

道路の損傷や陥没などの情報を把握した場合には、早急に対応し、事故を未然に防いでいる。情報の収集という観点では効果的な手法を取り入れることも検討していきたい。
道路環境の整備に当たっては、ウォークアブルの視点を考慮しながら、地域特性に応じた車道、沿道空間と一体となった歩道、街路樹、ベンチ(休憩場所)などについて、整備、維持、管理に努めていきたい。

道路台帳整備事業

部名/課名/係名 都市建設部 / 道路整備課 / 道路管理係

1 基本分類

総合計画コード

5212

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
- 委託等
- 連携・協働
- 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
- 義務と任意
- 任意

主な根拠法令等

道路法

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

道路台帳が適切に整備され、住民が信頼できる道路境界等の管理ができています。

事業内容 【継続】

道路台帳の整備

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

境界査定等で確定した場所や、新たに道路整備した場所の補正を確実に実施した。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 道路台帳補正		適正に整備 (適正に整備した)	適正に整備 (適正に整備した)	適正に整備 (適正に整備した)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 道路台帳補正箇所実施率	%	80 (80)	80 (100)	85 (100)	90 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	16,568	14,397	16,400	千円
人件費	2,327	2,272	2,217	千円
総計	18,895	16,669	18,617	千円

【財源内訳】一般財源 16,400千円
【執行内訳】委託料 16,400千円

3 今後の方向性 (必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定 拡充 継続 縮小 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
- 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
- サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
- 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
- 受益者負担のあり方について見直す余地がある
- その他 ()

【今後の取組等】

台帳整備の業務委託は、入札にて適切に業務を行っている。来年度以降、第5次行政改革の進捗を踏まえ、DXを活用し台帳の電子化や道路台帳写し交付事務の簡素化を図りたいと考えており、実施に向けて準備を進めている。

歩道整備事業

部名/課名/係名 都市建設部 / 道路整備課 / 道路施設係

1 基本分類

総合計画コード

5213,5211,5212,5221,5231,5622

事業類型

ハード事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

道路法、朝霞市が管理する市道の構造等の基準に関する条例

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

歩車道を分離することにより、歩行者などが安全に通行できている。

事業内容 【継続】

歩行者等の安全を確保するため、歩道の新設や歩道拡幅整備を行う。

実施状況

計画以上に実施できた
 おおむね計画どおりに実施できた
 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

- ・市道3号線歩道築造工事
- ・市道18号線歩道築造工事
- ・市道90号線歩道築造工事
- ・市道11号線歩道築造工事

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 歩道整備延長	m	100 (96)	85 (89)	220 (202.9)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 歩道整備率	%	100 (96)	100 (105)	100 (92)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	10,533	11,996	24,011	千円
人件費	4,654	3,029	4,064	千円
総計	15,187	15,025	28,075	千円

【財源内訳】 一般財源 11,881千円
 国庫支出金 4,130千円
 地方債 8,000千円
 【執行内訳】 工事請負費 24,011千円

3 今後の方向性 (必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定 拡充 継続 縮小 休止・廃止

- 見直しの余地
- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 - 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 - サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 - 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
 - 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 - その他 (引き続き、適正な工事費算出を行うとともに、周辺住民に配慮した工事の施工に努めていく。)

【今後の取組等】

歩道築造工事は、1件が繰越し工事となったが、全体として適切な方法で業務を実施した。今後についても、用地を取得できた箇所から、順次、歩道築造工事を実施していく。ウォークブル推進都市として、歩行区間の快適性向上を目指し、グリーンインフラの整備に加え、道路などの公共空間を有効活用(ベンチの設置)するなど、居心地が良く歩きやすくなるまちなかづくりを推進していく。

駅東通線整備事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ まちづくり推進課

/ 区画整理係

1 基本分類

総合計画コード

5221,5231

事業類型

ハード事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

都市計画法 社会資本整備総合交付金交付要綱

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

児童・生徒など歩行者の安全性を確保するため事業用地を取得し、取得した事業用地の適正な維持管理を行う。

事業内容【継続】

事業認可となっている延長約210m区間の整備ができるよう地権者と用地交渉を行い、事業用地を取得する。
 事業用地の適正な管理を行うため、木柵の修繕と除草を行う。

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

事業用地の維持管理(除草1回/年)

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 用地取得面積	㎡	1,979.50 (2,441.86)	1,979.50 (2,441.86)	2,631.84 (2,441.86)	3,117.73 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 用地取得率	%	74.5 (78.3)	78.3 (78.3)	84.4 (78.3)	100 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	189,200	278,846	132	千円
人件費	5,042	3,786	3,695	千円
総計	194,242	282,632	3,827	千円

【財源内訳】一般財源 132千円
 【執行内訳】委託料 132千円

3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

拡充 継続 縮小 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他 ()

【今後の取組等】

早期の事業完了を目指して用地交渉を進めるとともに、認可期間の延伸について検討する。
 土地開発基金を活用した機動的な用地取得により事業の推進を図るため、土地開発基金への繰戻しを行う。
 事業用地の維持管理経費の縮減方策を検討し、実証実験等に着手する。

岡通線整備事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ まちづくり推進課

/ 区画整理係

1 基本分類

総合計画コード

5221、5231

事業類型

ハード事業

実施形態

- 市単独事業
- 委託等
- 連携・協働
- 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
- 義務と任意
- 任意

主な根拠法令等

都市計画法 地方財政法 社会資本整備総合交付金交付要綱

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

全長4,240mの岡通線を整備することにより、県道と光志木線などの幹線道路の渋滞の緩和や交通の安全、利便性の向上が図られている。

事業内容【継続】

宮戸工区(朝霞浄水場付近～旧宮戸交番交差点の前後)については、埼玉県施行により整備を行う。市は街路事業負担金として、事業費の1/5を負担する。事業認可を取得した根岸台6丁目地区延長約198m区間の整備ができるよう地権者と用地交渉を行い、事業用地を取得する。

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

- ・事業用地の取得(契約 住宅 1件)
- ・取得した事業用地の維持管理(木柵設置及び修繕、除草2回/年)

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 整備延長	m	1,645 (1,645)	1,645 (1,645)	1,645 (1,645)	2,208 R 7 年度
	②		()	()	()	R 7 年度
成果	① 整備率	%	39 (39)	39 (39)	39 (39)	52 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	14,470	3,410	1,523	千円
人件費	9,696	13,630	11,822	千円
総計	24,166	17,040	13,345	千円

【財源内訳】	一般財源	1,523千円
【執行内訳】	需要費	16千円
	委託料	330千円
	工事請負費	524千円
	負担金	653千円

3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

拡充 継続 縮小 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
- 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
- サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
- 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
- 受益者負担のあり方について見直す余地がある
- その他 ()

【今後の取組等】

県施行の宮戸工区の早期完了のために、引き続き埼玉県に協力するとともに宮戸工区の事業費の負担を行う。また、根岸台6丁目地区の用地買収や建物補償業務を行うとともに、認可期間の延伸について検討する。土地開発基金を活用した機動的な用地取得により事業の推進を図るため、土地開発基金への繰り戻しを行う。

志木和光線整備事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ まちづくり推進課

/ 区画整理係

1 基本分類

総合計画コード

5221、5231

事業類型

ハード事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

整備の緊急性が高い国道254号バイパスについて、適切な財政措置が講じられるよう国や県に要望を行い、道路の早期完成が図られている。
 254号バイパス沿道の土地利用の活性化を実現するための都市計画(案)を作成する。

事業内容【継続】

県の要請により用地買収への協力をする他、一般国道254号和光川越間バイパス建設促進期成同盟会へ参加し、会を通じて国等へ建設促進要望を実施する。
 内間木公園拡張整備等検討委員会において、国道254号バイパス沿道の土地利用の活性化の方向性や都市計画による手法について検討し、その実現に向けて都市計画(案)を作成する。

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

県:国道463号線(浦和所沢バイパス)交差点部の立体交差橋から志木市内の県道さいたま東村山線までの部分開通に向けて道路整備。また、第2期整備のうち、朝霞市区間の予備設計を進める
 市:事業の早期完了のために国や県に対して要望活動を実施
 内間木公園拡張整備等検討委員会において、沿道の活性化の方向性について検討

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 国への要望活動件数(累計)	件	19 (19)	20 (20)	21 (21)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 整備延長	km	2.56 (2.56)	2.56 (2.56)	2.56 (2.56)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	0	0	0	千円
人件費	776	757	739	千円
総計	776	757	739	千円

【財源内訳】一般財源 0千円
 【執行内訳】 0千円

3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

拡充 継続 縮小 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他 ()

【今後の取組等】

事業の早期完了のために、国や県に対して要望活動を実施する。
 国道254号バイパス(志木和光線)の沿道の土地利用の活性化及び地域の防災・減災に向けて、内間木公園拡張整備等検討委員会において検討を進める。

事業用地維持管理事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ まちづくり推進課

/ 区画整理係

1 基本分類

総合計画コード

5221、5231

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

事業用地取得のための代替地等について適正な維持管理を行う。

事業内容【継続】

駅西口富士見通線代替地(281.49㎡)を維持管理する。
 駅西口富士見通線沿道広場(71.94㎡)の空間活用推進(黒板アート)及び維持管理を行う。
 本町1号線事業用地(145.47㎡)を維持管理する。
 朝霞駅前代替地(111.72㎡)を維持管理する。

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

事業用地の維持管理(除草等)及び駅西口富士見通線沿道広場の空間活用推進(黒板アート)を実施

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 事業用地の維持管理(除草の件数)	件	1 (0)	1 (1)	1 (1)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 除草達成率	%	100 (0)	100 (100)	100 (100)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	0	66	66	千円
人件費	776	1,136	4,064	千円
総計	776	1,202	4,130	千円

【財源内訳】 一般財源 66千円
 【執行内訳】 委託料 33千円
 工事請負費 33千円

3 今後の方向性 (必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

拡充 継続 縮小 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他 ()

【今後の取組等】

事業用地の維持管理(除草等)及び駅西口富士見通線沿道広場(71.94㎡)の空間活用推進(黒板アート)を行う。

私道整備助成事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ 道路整備課

/ 道路管理係

1 基本分類

総合計画コード

5221,5231

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
- 委託等
- 連携・協働
- 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
- 義務と任意
- 任意

主な根拠法令等

朝霞市私道整備事業補助金交付要綱

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

私道の整備が促進されることで、地域における生活環境と利便性の向上をはかる。

事業内容 【継続】

私道の舗装工事等の整備に対する費用の一部を助成する。
補助要件を満たした私道に対して、2/3以内(上限500万円)の補助金を交付する。

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

私道整備の要望に合わせ、補助金の交付だけでなく、土木業者の紹介依頼がある際には市内業者を複数社紹介し、早期の整備実現に協力することができた。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 私道整備事業補助件数	件	1 (2)	2 (0)	2 (1)	3 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 私道整備要望達成率	%	100 (100)	75 (0)	75 (100)	100 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	7,873	0	398	千円
人件費	1,551	1,136	1,847	千円
総計	9,424	1,136	2,245	千円

【財源内訳】一般財源 398千円
【執行内訳】負担金、補助及び交付金 398千円

3 今後の方向性 (必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

拡充 継続 縮小 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
- 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
- サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
- 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
- 受益者負担のあり方について見直す余地がある
- その他 ()

【今後の取組等】

令和元年度より補助要件に災害時に避難の円滑化に資すると認められる整備(スロープや手すりの設置等)も追加した。
今後においても、時代のニーズや地域の特性に応じ、地域住民などの意向を踏まえながら事業内容の見直しを検討する。

道路改良事業

部名/課名/係名 都市建設部 / 道路整備課 / 道路施設係

1 基本分類

総合計画コード

5221,5111,5211,5212,5213,5231,5413,5612,5613

事業類型

ハード事業

実施形態

- 市単独事業
- 委託等
- 連携・協働
- 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
- 義務と任意
- 任意

主な根拠法令等

道路法、朝霞市が管理する市道の構造等の基準に関する条例

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

道路拡幅整備の充実を目指し、安全で円滑な通行ができています。

事業内容【継続】

生活道路の安全と環境の整備を図るため、道路拡幅整備を行う。

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

- ・市道2399号線道路改良工事設計業務委託
- ・市道8号線道路改良工事
- ・市道391号線道路改良工事
- ・市道2356号線道路改良工事 他1件

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 道路改良工事延長	m	85 (110)	80 (82)	135 (163.3)	100 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 道路改良整備率	%	100 (129)	100 (103)	100 (121)	100 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	12,938	21,876	30,976	千円
人件費	3,103	6,058	4,803	千円
総計	16,041	27,934	35,779	千円

【財源内訳】 一般財源 3,376千円
地方債 27,600千円
【執行内訳】 委託料 5,940千円
工事請負費 25,036千円

3 今後の方向性 (必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定 拡充 継続 縮小 休止・廃止

- 見直しの余地
- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 - 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 - サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 - 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
 - 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 - その他 (引き続き、適正な工事費算出を行うとともに、周辺住民に配慮した工事の施工に努めていく。)

【今後の取組等】

道路改良工事の設計や工事について、適切な方法で実施した。今後についても、用地を取得できた箇所から、順次、改良工事を実施していく。

道路橋梁総務事務事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ 道路整備課

/ 道路管理係

1 基本分類

総合計画コード

5221,5231

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

課の総務的な事務を滞りなく行うことによって、各事業が計画的かつ効率的に実施できている。

事業内容【継続】

課内調整事務(旅費・共通消耗品・公用車の管理)
 各種保険料の加入・支払手続き

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

消耗品の購入や公用車の維持管理、各種保険料の支払いなどの課の総務的な事務を滞りなく進めることができている。苦情や要望現場に出動する際に道路のパトロールも兼ねて実施している。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 職員のパトロール回数	回	120 (160)	120 (160)	120 (170)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 道路賠償責任保険対応件数	件	0 (5)	0 (3)	0 (1)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	5,585	5,503	5,796	千円
人件費	4,654	5,679	6,281	千円
総計	10,239	11,182	12,077	千円

【財源内訳】 その他 5,796千円
 【執行内訳】 旅費 6千円、需用費 1,250千円、
 役務費 893千円、
 使用料及び賃借料 3,597千円、
 負担金、補助及び交付金 50千円

3 今後の方向性 (必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定 拡充 継続 縮小 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他 (恒常的な固定経費であり見直しは難しいが、工夫により抑制できそうなところは抑制に努める)

【今後の取組等】

旅費、自動車燃料、諸保険、自動車借り上げ等、固定的な経費が主な支出である。引き続き経費の抑制に努めながら、計画的に事務を行う。

道路舗装事業

部名/課名/係名

都市建設部

道路整備課

道路施設係

1 基本分類

総合計画コード

5221

事業類型

ハード事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

道路法、朝霞市が管理する市道の構造等の基準に関する条例

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

道路舗装を進めることにより、安全に通行できている。

事業内容 【継続】

傷んだ路面を舗装する。

実施状況

計画以上に実施できた
 おおむね計画どおりに実施できた
 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

- ・市道2号線舗装改修工事
- ・市道9号線舗装改修工事
- ・市道2002号線舗装改修工事
- ・大字溝沼地内舗装新設工事

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 舗装面積	㎡	2,000 (14,671)	7,850 (10,591)	7,600 (6,225)	5,000 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 舗装整備率	%	100 (734)	100 (135)	100 (82)	100 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	241,016	97,309	65,795	千円
人件費	10,860	8,329	2,586	千円
総計	251,876	105,638	68,381	千円

【財源内訳】 一般財源 6,695千円
 地方債 59,100千円
 【執行内訳】 工事請負費 65,795千円

3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

拡充
 継続
 縮小
 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他 (引き続き、適正な工事費算出を行うとともに、周辺住民に配慮した工事の施工に努めていく。)

【今後の取組等】

朝霞市道舗装修繕計画に基づき、適切な方法で業務を実施した。今後においても、舗装の傷みなどの状況を考慮し、適切に舗装工事を進めていく。

交通安全施設事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ まちづくり推進課

/ 交通政策係

1 基本分類

総合計画コード

5231,5211,5233

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

交通安全施設が適切に整備され、市民が安全に通行できる。

事業内容【継続】

外側線・グリーンベルト等の新設、復旧を実施し通行帯を明確にする。
 見通しの悪い交差点等に道路反射鏡を設置し、車両等の交通安全を確保する。
 地点名標識、警戒標識等の設置、修繕。
 歩道橋の維持管理、修繕。

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

道路区画線(外側線等表示) 13335.2m、グリーンベルト等のカラー表示551.1㎡、道路反射鏡設置9基
 横断歩道橋長寿命化計画に基づき、歩道橋1橋の施工計画を策定。
 千葉県八街市で発生した交通事故を受け、庁内関係部署並びに朝霞警察署等の関係機関と連携して実施した緊急安全点検結果を基に選定した箇所に交通安全対策工事を実施。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 外側線等路面表示・カラー舗装	m・㎡	8155m・110㎡ (18526.9m・1581.6㎡)	8155m・110㎡ (7613.6m・421.2㎡)	6000m・150㎡ (13335.2m・551.1㎡)	R 7 年度
	② 道路反射鏡設置数	基	30 (11)	30 (13)	12 (9)	R 7 年度
成果	① 年間交通事故発生件数(人身事故)	件	290 (248)	285 (272)	280 (283)	R 7 年度
	②					R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	185,766	20,950	57,383	千円
人件費	8,921	8,329	7,758	千円
総計	194,687	29,279	65,141	千円

【財源内訳】一般財源 43,617千円 国庫支出金 13,766千円
 【執行内訳】需用費 2,023千円 役務費 40千円
 委託料 3,391千円 工事請負費 32,616千円
 負担金、補助及び交付金 19,313千円

3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

拡充 継続 縮小 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他 ()

【今後の取組等】

朝霞警察署などの関係機関と連携し、優先度、緊急性及び予算のバランスに配慮しながら事業を実施していく。

花と緑のまちづくり事業

部名/課名/係名

都市建設部

／ 道路整備課

／ 道路管理係

1 基本分類

総合計画コード

5231

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
- 委託等
- 連携・協働
- 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
- 義務と任意
- 任意

主な根拠法令等

朝霞市道路美化活動団体制度実施要綱

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

道路、駅前広場が美しく花と緑にあふれ、住民が気持ちよく通行できている。
既設植樹帯へ確実に補植などが行われ、住民が緑の空間を通行できている。

事業内容 【継続】

既設植栽の充実、維持管理、花プランターの設置。
道路の植樹帯を点検し補植を行う。

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

市で管理している植樹帯や樹木の維持管理を適切に業務委託等の手法を用いて実施した。また、場所によっては市民のボランティアによって構成されている美化団体が除草や植栽を実施した。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 除草、剪定件数	件	50 (60)	50 (67)	60 (51)	63 R 7 年度
	② 道路美化活動団体数	団体	21 (25)	22 (24)	25 (25)	26 R 7 年度
成果	① 除草、剪定要望現場対応率	%	100 (100)	100 (100)	100 (100)	100 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	51,945	55,095	44,913	千円
人件費	4,266	5,300	5,911	千円
総計	56,211	60,395	50,824	千円

【財源内訳】 一般財源 44,913千円
【執行内訳】 需用費 413千円
委託料 44,500千円

3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

拡充 継続 縮小 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
- 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
- サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
- 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
- 受益者負担のあり方について見直す余地がある
- その他 ()

【今後の取組等】

除草、街路樹剪定等の業務に関して、適切に実施している。道路美化団体を積極的に募集し、市民による植樹帯の花植えや除草を手伝ってもらい、コストの削減につなげていきたい。
街路樹管理計画等を策定し、効率的な街路樹の管理につなげていきたい。

橋梁改修事業

部名/課名/係名

都市建設部

／道路整備課

／道路施設係

1 基本分類

総合計画コード

5231

事業類型

ハード事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

朝霞市橋梁長寿命化計画に基づく改修を実施して、良好な管理の下に橋梁が利用されている。

事業内容 【継続】

朝霞市橋梁長寿命化計画に基づき橋梁の改修工事を行う。

実施状況

計画以上に実施できた
 おおむね計画どおりに実施できた
 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

- ・浜崎橋他改修工事(JR受託工事)を令和3年度から令和5年度にかけて施工中
- ・浜崎橋他改修工事(市施工分)を実施
- ・内間木橋撤去工事を令和3年度から令和5年度にかけて施工中
- ・浜崎陸橋及び朝霞橋の補修設計 他2件を実施

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 改修設計橋数	橋	1 (1)	0 (0)	2 (2)	0 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 改修工事橋数	橋	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	58,315	199,775	264,351	千円
人件費	9,308	9,086	7,389	千円
総計	67,623	208,861	271,740	千円

【財源内訳】 一般財源 35,859千円
 国庫支出金 80,492千円
 地方債 148,000千円

【執行内訳】 委託料 41,959千円
 工事請負費 111,391千円
 負担金、補助及び交付金 111,001千円

3 今後の方向性 (必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

拡充
 継続
 縮小
 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他 (関係機関との協議を適切に行い、円滑な工事の施工に努めていく。)

【今後の取組等】

現在、浜崎橋他改修工事は、JR東日本と協定を締結し、工事を委託している。今後についても、5年に1度の定期点検結果を踏まえ、朝霞市橋梁長寿命化計画に基づき、安心・安全なまちの実現に資するよう、計画的に橋梁改修を実施していく。

交通施策推進事業

部名/課名/係名 都市建設部 / まちづくり推進課 / 交通政策係

1 基本分類

総合計画コード

5232,5211,5234,
5621,5622

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

朝霞市ノンステップバス等導入促進費補助金交付要綱 朝霞市地域公共交通協議会条例 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律 道路運送法

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

誰にも優しい公共交通機関の実現のため、関係機関に働きかけ、駅施設のバリアフリー化やノンステップバスの導入の促進及び地域特性に応じた地域公共交通網の形成が図られている。

事業内容【継続】

各鉄道に係る改善対策協議会を通じて、鉄道駅の安全性の確保、駅施設のバリアフリー化等の要望活動の実施。ノンステップバス導入のバス事業者に経費の一部を助成する。運転免許自主返納者の移動支援として市内循環バス回数券又は交通系ICカードを交付する。地域住民の生活に必要な旅客輸送の確保その他の旅客の利便の増進を図るため地域公共交通協議会において令和2年度に策定した地域公共交通計画をもとに各種施策を推進する。公共交通空白地区の改善に向け、地域住民と協働で運行計画を作成する。

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

武蔵野線旅客輸送改善対策協議会、東武東上線改善対策協議会を通じ、JR東日本と東武鉄道に要望活動を行った。シェアサイクルの実証実験を継続して実施した。運転免許自主返納者への支援として、交通系ICカード、市内循環バス回数券またはタクシー回数券を交付した。地域公共交通協議会を開催し、市民や関係機関と協働で地域公共交通計画の施策を推進した。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 要望回数	回	2 (2)	2 (2)	2 (2)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① ノンステップバス導入補助金交付台数	台	2 (0)	2 (0)	2 (0)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	20,806	3,766	10,600	千円
人件費	10,084	6,058	6,281	千円
総計	30,890	9,824	16,881	千円

【財源内訳】一般財源 10,600千円
 【執行内訳】報酬 496千円 旅費 149千円
 需用費 297千円
 負担金、補助及び交付金 9,658千円

3 今後の方向性 (必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定 拡充 継続 縮小 休止・廃止

- 見直しの余地
- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 - 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 - サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 - 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
 - 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 - その他 ()

【今後の取組等】

引き続き、武蔵野線旅客輸送改善対策協議会及び東武東上線改善対策協議会を通じて、鉄道の安全性の確保、駅施設のバリアフリー化等の要望活動を実施していく。
 朝霞台駅のバリアフリー化に向けて東武鉄道と連携し取り組んでいく。
 市民の多様な移動手段確保のため、シェアサイクル事業の実証実験を2024年3月まで継続するとともに、本格実施について検討する。
 地域公共交通計画に基づき、空白地区への新たな公共交通への導入等、各種施策を推進する。

市内循環バス運営事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ まちづくり推進課

/ 交通政策係

1 基本分類

総合計画コード

5232,5234,5621

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

朝霞市地域公共交通協議会条例

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

通勤・通学の利便性の向上、公共施設の利用促進、路線バスが運行されていない地域の交通手段が確保できている。

事業内容【継続】

バス事業者3社と協定を締結し、運行に係る経費のうち運賃を除いた経費をバス事業者に助成することにより、市内循環バスを運行する。

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

運行概要 路線数(4路線、運行距離34.35km、バス停数70か所、運行数平日92本、休日76本)
 乗車人数 予想値約341,000人、1日平均950人
 (参考:令和3年度実績 334,493人、1日平均932人)

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 運行数(平日)	便	95 (83)	92 (92)	92 (92)	R 7 年度
	② 運行数(休日)	便	80 (69)	76 (76)	76 (76)	R 7 年度
成果	① 年間利用人数	人	415,000 (291,774)	288,000 (322,000)	328,000 (341,000)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	87,566	108,321	98,518	【財源内訳】一般財源 98,518千円
人件費	4,654	4,922	4,803	【執行内訳】需用費 249千円
総計	92,220	113,243	103,321	委託料 77千円 補償、補填及び賠償金 98,192千円

3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

拡充 継続 縮小 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他 ()

【今後の取組等】

改善基準告示の改正内容に即した運行ダイヤへの改正を行う必要があることから、OD調査により利用実態を把握したうえで、利用が少ない夜間帯の便の繰り上げのほか、効率的な運行ルートや運行ダイヤについて検討に着手する。

自転車駐車場管理運営事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ まちづくり推進課

/ 交通政策係

1 基本分類

総合計画コード

5233

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

朝霞市自転車駐車場設置及び管理条例 朝霞市自転車駐車場設置及び管理条例施行規則

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

駅周辺に整備した自転車駐車場等の適切な管理運営が行われ、市民が快適に利用している。

事業内容【継続】

自転車駐車場等の維持管理に伴う業務委託、修繕業務、借地駐車場の更新手続き、利用者の途中解約に伴う還付業務。

実施状況

計画以上に実施できた
 おおむね計画どおりに実施できた
 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

指定管理者と基本協定書及び年度協定書に基づき管理を実施した。

朝霞台南口地下自転車駐車場におけるキャンセル待ちを解消するため、朝霞台南口第1自転車駐車場(一時利用専用)の1階部分を大型自転車専用の定期利用スペースとする運用の見直しを行った。(令和5年4月開始)

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 自転車駐車場等整備、維持管理箇所数	箇所	10 (10)	10 (10)	10 (10)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 利用率(定期利用者)	%	100 (81.5)	100 (79.8)	100 (80.6)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	283,697	273,005	269,408	千円
人件費	6,206	5,679	5,172	千円
総計	289,903	278,684	274,580	千円

【財源内訳】一般財源11,944千円、その他257,464千円
 【執行内訳】需用費48千円、役務費1,100千円、委託料241,863千円、使用料及び賃借料26,393千円、償還金、利子及び割引料4千円

3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

拡充
 継続
 縮小
 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他 ()

【今後の取組等】

各自転車駐車場について、必要に応じ修繕を実施し適切な維持管理に努める。

大型自転車のキャンセル待ちを解消するため、指定管理者と連携し、配置スペースの有効活用について検討する。

みどりのまちづくり基金積立事業

部名/課名/係名 都市建設部 / みどり公園課 / みどり公園係

1 基本分類

総合計画コード

5311,4111,5331

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
- 委託等
- 連携・協働
- 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
- 義務と任意
- 任意

主な根拠法令等

朝霞市みどりのまちづくり基金条例

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

緑地の保全及び緑化の推進に必要な土地取得、良好な景観の形成又は生物多様性の保全に資する緑化を支援することにより、貴重な緑地の保全と緑化の推進が図られている。

事業内容【継続】

緑地の保全及び緑化の推進に必要な土地の取得、良好な景観の形成又は生物多様性の保全に資する緑化の支援等に要する財源に充てるため、基金を積み立てる。

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

- ・みどりのまちづくり基金募金活動の実施
- ・みどりのまちづくり基金PR活動の実施

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 募金活動件数	件	2 (2)	2 (1)	2 (2)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 寄附・募金金額	円	50,000 (564,483)	50,000 (6,555,338)	50,000 (1,100,000)	50,000 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	564	6,555	1,100	千円
人件費	1,551	1,514	2,586	千円
総計	2,115	8,069	3,686	千円

【財源内訳】一般財源 1,100千円
 【執行内訳】積立金 1,100千円
 (内訳)
 ・寄付型自動販売機寄付金 964千円
 ・新電元工業寄付金 10千円
 ・募金による寄付金 28千円
 ・利息 8千円

3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

拡充 継続 縮小 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
- 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
- サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
- 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
- 受益者負担のあり方について見直す余地がある
- その他 ()

【今後の取組等】

緑地の保全、緑化の推進に必要な土地の取得や良好な景観の形成、生物多様性の保全に資する緑化の支援に要するための財源を確保する必要があるため、寄附や募金を募る。

緑化推進事業

部名/課名/係名

都市建設部

/みどり公園課

/みどり公園係

1 基本分類

総合計画コード

5311,4111,5121,5322

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
- 委託等
- 連携・協働
- 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
- 義務と任意
- 任意

主な根拠法令等

都市緑地法
朝霞市緑化推進条例
朝霞市生け垣等設置奨励補助金交付要綱

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

環境の保全、防災、景観の形成、レクリエーションなどの機能を持つ貴重な緑の減少に歯止めをかけ、現存する緑を保全するとともに、市街地における緑化を推進している。

事業内容【継続】

特別緑地保全地区等の維持管理と民間所有緑地の管理に対する支援を行うとともに、生け垣等設置の奨励などにより、緑化の推進を図る。

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

・緑化推進会議を1回開催 ・緑化推進奨励金を交付 ・特別緑地保全地区等を管理
・緑地管理ボランティアを支援 ・生垣等設置奨励補助金の啓発

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 保護地区追加指定箇所	箇所	1 (0)	1 (0)	1 (0)	R 7 年度
	② 生け垣等設置箇所	箇所	2 (2)	2 (0)	2 (0)	R 7 年度
成果	① 保護地区面積	ha	10 (9)	10 (9)	10 (9)	R 7 年度
	② 生け垣等の設置延長(累計)	m	600 (533)	600 (534)	600 (540)	R 7 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	44,497	31,953	31,811	千円
人件費	10,472	5,679	1,478	千円
総計	54,969	37,632	33,289	千円

【財源内訳】一般財源31,811千円
【執行内訳】報酬88千円、報償費8千円、旅費27千円、需用費250千円、役務費8千円、委託料3,459千円、使用料及び賃借料5,400千円、工事請負費7,607千円、負担金、補助及び交付金14,956千円

3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

拡充 継続 縮小 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
- 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
- サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
- 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
- 受益者負担のあり方について見直す余地がある
- その他 ()

【今後の取組等】

みどりの基本計画に基づき、市内に残る貴重な緑を継続的に保全していくため、市有地の緑地については、ボランティア団体などの市民等と連携をしながら管理していくとともに、民有地の緑地についても適切な支援のあり方について検討しながら取り組んでいく。令和5年度は、朝霞駅前公有地のグリーンインフラ整備工事の設計、緑比率経年変化調査を新規で実施する。

生産緑地管理事業

部名/課名/係名 都市建設部 / みどり公園課 / みどり公園係

1 基本分類

総合計画コード

5312,4111

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
- 委託等
- 連携・協働
- 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
- 義務と任意
- 任意

主な根拠法令等

生産緑地法

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

残存する農地等が、生産緑地地区として適切に保全・管理されている。

事業内容【継続】

生産緑地地区の指定や解除、変更などの都市計画決定事務、生産緑地地区台帳の整理、指定に伴う標識の管理を行う。

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

- ・都市計画決定変更回数 2回
- ・生産緑地指定標識等設置工事の実施(新設・変更による設置・撤去) 3回
- ・特定生産緑地について都市計画審議会へ意見聴取、特定生産緑地の指定公示

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 都市計画決定変更回数	回	2 (2)	2 (2)	2 (2)	R 7 年度
	② 台帳補正業務回数	回	— (—)	— (—)	0 (1)	R 7 年度
成果	① 指定地区数	箇所	2 (2)	2 (7)	2 (2)	R 7 年度
	②					R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	641	858	608	千円
人件費	5,042	4,922	4,064	千円
総計	5,683	5,780	4,672	千円

【財源内訳】一般財源 608千円
【執行内訳】委託費 498千円
工事請負費 110千円

3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

拡充 継続 縮小 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
- 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
- サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
- 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
- 受益者負担のあり方について見直す余地がある
- その他 ()

【今後の取組等】

令和5年度も、引き続き申請に基づいて、新規の指定・解除を行う。また、令和8年度に指定が30年を迎える特定生産緑地の意向調査を行う。

公園管理事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ みどり公園課

/ みどり公園係

1 基本分類

総合計画コード

5313,5323

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

都市公園法
朝霞市都市公園条例

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

維持管理を適切に行うことにより、市民が公園を安全かつ快適に使用している。

事業内容【拡充】

都市公園の清掃、除草、遊具の点検、施設の修繕、樹木の管理、トイレ清掃等を実施する。

実施状況

○ 計画以上に実施できた ● おおむね計画どおりに実施できた ○ 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

- ・都市公園のボランティア団体による維持管理。
- ・都市公園内の施設修繕、管理委託の実施。
- ・市内都市公園での移動式プレーパークの実施。
- ・パース図を用いて市民説明会(3公園)実施。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 都市公園維持管理箇所数	箇所	38 (38)	39 (41)	44 (42)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 遊具の不具合による事故件数	件	0 (0)	0 (0)	0 (0)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	272,794	224,103	221,584	千円
人件費	5,818	5,679	5,172	千円
総計	278,612	229,782	226,756	千円

【財源内訳】一般財源 221,584千円
 【執行内訳】旅費 30千円
 需用費 19,943千円
 役務費 198千円
 委託料 161,483千円
 使用料及び賃借料 39,498千円
 原材料費 393千円
 負担金、補助及び交付金 39千円

3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

○ 拡充 ● 継続 ○ 縮小 ○ 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他 ()

【今後の取組等】

引き続き指定管理者や管理を委託している業者と連携を図り、市民が公園を安全かつ快適に使用できるように、施設の管理を継続する。また、公園の日常管理を実施していただいている市民ボランティア団体の募集についても継続的に行う。

公園施設改修事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ みどり公園課

/ みどり公園係

1 基本分類

総合計画コード

5313,5613

事業類型

ハード事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

都市公園法

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

公園施設の改修を行うことにより、市民が公園を活用しやすくなっている。

事業内容【継続】

都市公園の遊戯施設、休憩施設、修景施設、運動施設等の改修工事を行う。

実施状況

○ 計画以上に実施できた ● おおむね計画どおりに実施できた ○ 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

- ・公園施設長寿命化対策工事(島の上公園遊具更新工事)
- ・都市公園の改修工事全般
- ・老朽化した施設の改修工事

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 公園改修件数	件	35 (17)	35 (14)	35 (27)	R 7 年度
	② 公園改修対象箇所数	箇所	38 (38)	41 (41)	36 (41)	R 7 年度
成果	① 遊具の不具合による事故件数	件	0 (0)	0 (0)	0 (0)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	42,996	78,880	108,060	千円
人件費	6,981	4,922	4,803	千円
総計	49,977	83,802	112,863	千円

【財源内訳】一般財源 108,060千円
 【執行内訳】工事請負費 108,060千円

3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

○ 拡充 ● 継続 ○ 縮小 ○ 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他 ()

【今後の取組等】

公園施設長寿命化計画及び遊具等の点検結果に基づき、老朽化した公園施設の改修・更新を実施する。令和5年度は、城山公園自家用電気工作物PCB変圧器処理・更新工事や青葉台第2駐車場の拡張整備工事、滝の根公園遊歩道改修工事を行う。ナラ枯れ等による枯損木の点検を、定期的に行い利用者の安全確保に努める。まぼりひがし公園、まぼりみなみ公園の設計を行う。

児童遊園改修事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ みどり公園課

/ みどり公園係

1 基本分類

総合計画コード

5313,5613

事業類型

ハード事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

児童遊園施設の改修を行うことにより、市民が公園を活用しやすくなっている。

事業内容【継続】

児童遊園地の遊戯施設、休憩施設、修景施設、運動施設等の改修工事を行う。

実施状況

計画以上に実施できた
 おおむね計画どおりに実施できた
 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

児童遊園地の改修工事全般
遊具施設、植栽、休養施設、管理施設等の改修工事

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 児童遊園改修件数	件	18 (5)	18 (8)	18 (7)	18 R 7 年度
	② 児童遊園改修対象箇所数	箇所	82 (81)	82 (82)	83 (83)	83 R 7 年度
成果	① 遊具の不具合による事故件数	件	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	3,978	3,936	4,696	千円
人件費	3,491	5,679	5,172	千円
総計	7,469	9,615	9,868	千円

【財源内訳】一般財源 4,696千円
 【執行内訳】工事請負費 4,696千円

3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

拡充
 継続
 縮小
 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他 ()

【今後の取組等】

施設の点検業者や児童遊園地管理業者と連携を図り、老朽化した施設や不具合が生じている施設の改修を速やかに実施する。ナラ枯れ等による枯損木の点検を、定期的に行い利用者の安全確保に努める。

児童遊園管理事業

部名/課名/係名

都市建設部

/ みどり公園課

/ みどり公園係

1 基本分類

総合計画コード

5313

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

維持管理を適切に行うことにより、市民が児童遊園地を安全かつ快適に使用している。

事業内容【継続】

児童遊園地の清掃、除草、遊具点検、施設の修繕、樹木管理、トイレ清掃等を実施する。

実施状況

○ 計画以上に実施できた ● おおむね計画どおりに実施できた ○ 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

- ・児童遊園地の維持管理（一部をシルバー人材センターに清掃等を委託）
- ・児童遊園地の一部をボランティア団体が管理

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 児童遊園維持管理箇所数	箇所	82 (81)	85 (82)	83 (83)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 遊具の不具合による事故件数	件	0 (0)	0 (0)	0 (0)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	58,922	56,716	65,939	千円
人件費	4,654	3,786	4,803	千円
総計	63,576	60,502	70,742	千円

【財源内訳】一般財源 65,939千円
 【執行内訳】需用費 9,286千円
 委託料 56,653千円

3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

○ 拡充 ● 継続 ○ 縮小 ○ 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他 ()

【今後の取組等】

児童遊園地の管理を委託している業者や遊具点検業者等と連携を図り、市民が安全快適に使用できるように、施設の管理をする。また、児童遊園地の日常管理を実施していただいている市民ボランティア団体の募集についても継続的に行う。管理委託業者と連携してナラ枯れ等の枯損木の目視点検を定期的の実施していく。

内間木公園拡張整備基本構想等策定事業

部名/課名/係名 都市建設部 / みどり公園課 / みどり公園係

1 基本分類

総合計画コード

5313,5323

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
- 委託等
- 連携・協働
- 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
- 義務と任意
- 任意

主な根拠法令等

・朝霞市内間木公園拡張整備等検討委員会条例

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

国道254号バイパス(第2期)の整備に合わせた同沿道の活性化や、旧憩いの湯跡地を含めた内間木公園の拡張整備に向けた構想等が策定されている。

事業内容【新規】

第二期整備が進む国道254号バイパスの沿道活性化の検討に合わせて、市が保有する貴重な公有財産である旧憩いの湯跡地を含めた内間木公園の拡張整備等の検討を令和4年度から令和5年度までの2か年で実施する。

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

- ・内間木公園拡張整備等検討委員会を3回実施
- ・内間木公園拡張整備等庁内検討委員会を4回実施
- ・市民アンケートを実施
- ・内間木公園拡張整備及び国道254号バイパス沿道活性化の検討を行った。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 内間木公園拡張整備等検討委員会の開催	回	— (—)	— (—)	4 (3)	4 R 5 年度
	②					R 年度
成果	① 基本構想等策定	—	— (—)	— (—)	検討 (検討)	策定 R 5 年度
	②					

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	—	—	13,108	千円
人件費	—	—	5,172	千円
総計	—	—	18,280	千円

【財源内訳】一般財源 13,108千円
 【執行内訳】報酬 240千円
 旅費 72千円
 需用費 32千円
 役務費 477千円
 委託料 12,287千円

3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

拡充 継続 縮小 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
- 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
- サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
- 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
- 受益者負担のあり方について見直す余地がある
- その他 ()

【今後の取組等】

令和5年度は、内間木公園拡張整備等検討委員会を4回実施、内間木公園拡張整備等庁内検討委員会を4回実施し、パブリックコメント、地元住民を含む意向調査を行い、整備手法(地区計画等)(骨子案)の作成、内間木公園拡張整備基本構想を策定する。

(仮称)宮戸二丁目公園整備事業

部名/課名/係名 都市建設部 / みどり公園課 / みどり公園係

1 基本分類

総合計画コード

5313,5323

事業類型

ハード事業

実施形態

- 市単独事業
- 委託等
- 連携・協働
- 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
- 義務と任意
- 任意

主な根拠法令等

都市公園法

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

日常的・広域的なレクリエーションの場が不足している地域の解消が図れるとともに、良好な都市景観の形成や、また、ヒートアイランド現象の緩和、災害時における一時避難場所として防災機能等が図れる。

事業内容【新規】

(仮称)宮戸二丁目公園の土地購入、設計、整備工事を実施し、(仮称)宮戸二丁目公園の供用開始をする。

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

- ・土地開発基金において土地の購入。
- ・国庫補助金の本申請を行った。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 整備工事	箇所	— (—)	— (—)	土地購入・説明会 (土地購入・説明会)	整備工事 R 6 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 公園開園	箇所	— (—)	— (—)	— (—)	公園開園 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	—	—	4,562	千円
人件費	—	—	11,822	千円
総計	—	—	16,384	千円

【財源内訳】一般財源 4,562千円
 【執行内訳】 役務費 934千円
 委託料 3,355千円
 工事請負費 273千円

3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

拡充 継続 縮小 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
- 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
- サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
- 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
- 受益者負担のあり方について見直す余地がある
- その他 ()

【今後の取組等】

令和5年度は、土地開発基金からの土地の購入のほか、公園の設計を行う。設計については、今回の3公園の共通方針や、立地特性に即したテーマ設定と、説明会で市民から聴取した意見を参考に設計を行う。令和6年度は整備工事を行い、令和7年度に開園予定。

花の植栽事業

部名/課名/係名 都市建設部 / みどり公園課 / みどり公園係

1 基本分類

総合計画コード

5321

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

四季を通じて楽しめる草花を植えることで、子どもからお年寄りまで様々な方が交流し、市民が親しみを持って使用している。

事業内容【継続】

わくわくどーむ前のふれあい広場への草花の植栽、花の種や球根を植え付け、花壇や広場の清掃、除草業務を実施する。

実施状況

○ 計画以上に実施できた ● おおむね計画どおりに実施できた ○ 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

- ・ふれあい花壇の管理について、除草、清掃、樹木剪定、ゴミ収集、草花や球根の植付け、花の種子の播種、施肥、花壇内の除草、灌水業務を委託。
- ・ラベンダー畑の管理(剪定業務等)を市民ボランティア団体が管理した。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 花壇への草花の植付け回数	回	4 (4)	4 (4)	4 (4)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① ふれあい花壇における事故件数	件	0 (0)	0 (0)	0 (0)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	6,517	6,515	6,013	千円
人件費	1,939	1,514	2,956	千円
総計	8,456	8,029	8,969	千円

【財源内訳】一般財源 6,013千円
 【執行内訳】委託費 5,830千円
 使用料及び貸借料 183千円

3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

○ 拡充 ● 継続 ○ 縮小 ○ 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
- 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
- サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
- 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
- 受益者負担のあり方について見直す余地がある
- その他 ()

【今後の取組等】

子どもからお年寄りまで様々な方が交流できる場を提供していくため、ボランティア団体の協力によるラベンダーの管理、シルバー人材センターによる広場の管理や社会福祉協議会による四季を通じて楽しめる草花の管理を委託することで、市民が親しみを持って使用できる広場とする。

黒目川桜並木管理事業

部名/課名/係名 都市建設部 / 道路整備課 / 道路管理係

1 基本分類

総合計画コード

5321,5332

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

黒目川桜並木が適切に管理され、住民が黒目川に親しみ、楽しむことができる。

事業内容 【継続】

桜の季節に提灯、灯籠、仮設トイレを設置し遊歩道を適切に管理することで、快適な環境をつくる。

実施状況

計画以上に実施できた
 おおむね計画どおりに実施できた
 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

黒目川の桜の開花時期に合わせて、提灯や灯籠等を適切に設置し、桜を楽しみに訪れる方々への空間作りを行った。また、黒目川に設置されている健康遊具等の定期点検を実施し、適切に管理を行った。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 提灯設置		適切に設置 (適切に設置した)	適切に設置 (適切に設置した)	適切に設置 (適切に設置した)	適切に設置 R 7 年度
	② 仮設トイレ設置		適切に設置 (コロナ対策で設置せず)	適切に設置 (コロナ対策で設置せず)	適切に設置 (適切に設置した)	適切に設置 R 7 年度
成果	① 黒目川花まつり来場者数(2日間)	人	6,000 (0)	6,000 (0)	6,000 (7,000)	6,000 R 7 年度
	② 黒目川桜並木における事故件数	件	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 R 7 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	2,987	3,208	3,795	千円
人件費	1,551	1,893	1,847	千円
総計	4,538	5,101	5,642	千円

【財源内訳】一般財源 3,795千円
 【執行内訳】委託料 3,795千円

3 今後の方向性 (必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定 拡充 継続 縮小 休止・廃止

- 見直しの余地
- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 - 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 - サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 - 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
 - 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 - その他 (黒目川桜並木は市民の憩いの場として、親しまれているため今後も市が関与する)

【今後の取組等】

昨年もコロナ禍のため花まつりは縮小しての開催となったが、提灯・灯籠の設置は行った。今後は花まつりも通常通り開催予定であるため仮設トイレの設置等に合わせて、市民憩いの事業として継続して、実施していく。

景観まちづくり推進事業

部名/課名/係名 都市建設部 / まちづくり推進課 / 都市計画係

1 基本分類

総合計画コード

5331,5332

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
- 委託等
- 連携・協働
- 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
- 義務と任意
- 任意

主な根拠法令等

景観法 朝霞市景観条例 朝霞市景観規則

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

本市の自然環境や歴史的・文化的な資源を活かし、快適で活力ある住宅都市としての魅力を高め、発信することで、より多くの人々が朝霞に住みたい、訪れたいと感じるまちとなっている。

事業内容【継続】

本市の景観計画の周知を図るとともに、景観づくりの推進に向けて景観審議会の運営、景観づくり重点地区の指定等を行い、良好な景観形成を進める。

実施状況

計画以上に実施できた おおむね計画どおりに実施できた 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

- ・特別な案件がなかったため、景観審議会を開催できなかった。
- ・景観形成補助金を130万円交付した。(ソフト事業1件10万円、ハード事業1件120万円)
- ・景観の届出対象規模を見直した内容で4月1日より運用開始した。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 景観に関する情報の発信(広報、HP等)	—	発信 (発信)	発信 (発信)	発信 (発信)	R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度
成果	① 景観に関するイベントの参加人数	人	30 (0)	20 (0)	30 (0)	R 7 年度
	② 景観づくり団体の認定数	数	3 (1)	3 (5)	3 (0)	R 7 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	1,914	1,492	2,303	千円
人件費	11,248	15,523	7,758	千円
総計	13,162	17,015	10,061	千円

【財源内訳】一般財源1,003千円、その他1,300千円
【執行内訳】委託料1,003千円、負担金、補助及び交付金1,300千円

3 今後の方向性 (必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定 拡充 継続 縮小 休止・廃止

- 見直しの余地
- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 - 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 - サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 - 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
 - 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 - その他 ()

【今後の取組等】

- ・景観計画における景観づくりの基本理念の実現に向けて、計画を推進するとともに、景観審議会を適正に運営していく。また、景観審議会は、公募市民の枠を設け市民の視点から意見を伺うようにする。
- ・景観づくりに関する情報の発信、意識の啓発、知識の普及等に努めるとともに、景観づくり団体・景観重要建造物・景観重要樹木を継続的に公募していく。
- ・居心地が良く歩きたくなるまちづくりに向け、景観の視点から検討するとともに、みどりのまちづくり基金を活用する景観形成補助金の運用を実施するなど、引き続き、市民等との協働による景観施策の推進を図っていく。

水路管理事業

部名/課名/係名

都市建設部

／道路整備課

／道路管理係

1 基本分類

総合計画コード

5341

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業
 委託等
 連携・協働
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
 義務と任意
 任意

主な根拠法令等

2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

水路、谷津地調整池等が適切に維持管理され、水害から住民や住居を守ることができている。

事業内容 【継続】

水路敷の維持管理。
谷津地調整池の維持管理費の負担。
野火止用水使用組合の負担金。

実施状況

○ 計画以上に実施できた ● おおむね計画どおりに実施できた ○ 計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

市民からの通報や職員のパトロールにて発見した水路に泥が堆積している箇所を業者へ清掃を委託した。清掃を実施することで水路機能を維持することができた。
谷津地調整池については、志木市で維持管理に支出した費用を負担割合に応じ、負担金として支出した。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 各負担金支出		適正に支出 (適正に支出した)	適正に支出 (適正に支出した)	適正に支出 (適正に支出した)	適正に支出 R 7 年度
	② 水路清掃件数	件	5 (2)	5 (1)	5 (2)	5 R 7 年度
成果	① 水路清掃要望箇所現場対応率	%	100 (100)	100 (100)	100 (100)	100 R 7 年度
	②		()	()	()	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	939	632	855	千円
人件費	2,327	1,514	2,217	千円
総計	3,266	2,146	3,072	千円

【財源内訳】一般財源 855千円
 【執行内訳】委託料 545千円
 負担金、補助及び交付金 310千円

3 今後の方向性 (必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定 ○ 拡充 ● 継続 ○ 縮小 ○ 休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
 受益者負担のあり方について見直す余地がある
 その他 (水路の管理者として今後も適切に管理を実施していく必要がある。)

【今後の取組等】

水路や柵の清掃など適切な管理に努めた。今後においても、水路等の清掃を適切に実施し、水害被害防止に努める。